

キャノングローバル戦略研究所 (CIGS)
エネルギー・気候変動政策国際シンポジウム
～日本及び EU における脱炭素への道～

Symposium on Energy and Climate Policies
～The Road to Decarbonization in Japan and the EU～

- 日時 2023 年 6 月 21 日 (水) 14:00-15:30
- 会場 新丸ビルコンファレンススクエア Room901 (対面開催)
東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル 9 階
- 講師 経済産業省 木原 晋一大臣官房審議官 (環境問題担当)
日本駐在欧州連合代表部代表 ジャン＝エリック・パケ大使
- 言語 英語 (英→日 逐次通訳あり)
- 参加登録先 <https://us.msgs.jp/c2/0F5j5?t1=H6D&t2=3zsM7cKzeWY&t3=8QAU0>

○講演概要

世界的にエネルギー変革の機運が高まる一方で、資源価格の高騰やエネルギーを取り巻く国際関係の緊張など、脱炭素への道のりには多くの課題もある。今年 5 月には G7 サミットが広島で開催され、関連して 4 月には札幌で気候・エネルギー・環境大臣会合が開かれるなど、気候変動・エネルギー対策は喫緊の課題として日本および世界で取り組まれている。とりわけ EU では、2030 年までに温室効果ガス排出を 55%削減し、2050 年には世界初のカーボンニュートラルな大陸となるべく、多くの政策が打ち出されている。CIGS では、そうした EU の気候変動・エネルギー政策の特徴や、先進性の在り処を明らかにするため調査・研究を行い、その成果は 5 月に[当所ウェブサイト](#)にて公表された。

これを機に CIGS では国際シンポジウムを開催し、日本と EU から講師を招いて、双方において講じられている政策や、主要な課題について講演していただき、モデレーターとともに討論する。本シンポジウムを通じて、研究成果の概要を広く共有するとともに、脱炭素に向けて取り組むべき課題やその解決の端緒を見出すための議論を行いたい。

○プログラム

14:00-14:10	<u>趣旨説明および研究成果の概要報告</u> 芳川 恒志 (進行: キャノングローバル戦略研究所 研究主幹) Gitte Wallin Pedersen (同上 研究員)
14:10-14:50	<u>講演</u> 1. 経済産業省 木原 晋一大臣官房審議官 (環境問題担当) 2. 日本駐在欧州連合代表部代表 ジャン＝エリック・パケ大使
14:50-15:30	<u>討論</u> モデレーター: 田中伸男氏

○講師紹介

木原 晋一（きはら しんいち）

経済産業省 大臣官房審議官（環境問題担当）

1993年に経済産業省に入省し、資源エネルギー庁や通商政策局、貿易経済協力局のポストを務めた後、2009–2012年に国際エネルギー機関（IEA）のシニアエネルギーアナリストとなる。帰国後は再び資源エネルギー庁で長官官房国際課国際エネルギー推進室長、省エネルギー・新エネルギー部政策課国際室長、長官官房国際課長を歴任し、2016–2020年に通商政策局にて中東アフリカ課長や総務課長を務めた後、2020年より資源エネルギー庁長官官房国際資源エネルギー戦略統括調整官。2021年から現職。

Jean-Eric PAQUET（ジャン＝エリック・パケ）

Head of the Delegation of the European Union to Japan, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
（2022年秋より日本駐在欧州連合代表部代表・大使）

パケ大使はこれまで欧州委員会において数々の役職を歴任し、多様な分野でEUの政策形成に貢献し、大きな成果を上げてきた。2018–2022年まで研究・イノベーション総局長として、「欧州イノベーション会議」の創設に関わり、環境・社会・経済上の主要課題の解決を目指す「EU ミッション」を複数立ち上げるなど、組織一丸となった研究・イノベーションへの取り組みを推進した。

2015–2018年まで、欧州委員会の副事務総長（より良い規制・政策調整担当）を務めた。欧州横断運輸ネットワーク（TEN-T）政策の立案を主導し、欧州の輸送インフラ政策や投資戦略、単一欧州鉄道領域および内陸水路・港湾政策も担当した。

パケ大使はどの政策分野においても、共創と組織・制度的な変革を重視し、公共政策アジェンダの設定に市民がより関与すべきだとの信念を持つ。

田中伸男（たなか のぶお）

Tanaka Global Inc. CEO

財団法人日本エネルギー経済研究所特別フェロー、千代田化工建設株式会社社外取締役、イノテック株式会社社外監査役、日本エア・リキード社 Senior Executive Advisor、Innovation for Cool Earth Forum（ICEF）運営委員会議長、東京大学公共政策大学院客員教授、米国 Columbia 大学 Center on Global Policy で Distinguished Fellow。キャノングローバル戦略研究所「次世代原子力をめぐる研究会」及び「脱炭素と中東エネルギー地政学研究会」座長。

1972年東京大学経済学部卒業後、73年に通商産業省（現経済産業省）へ入省、2007–2011年の間、IEA 事務局長を務める。2015–2020年まで公益財団法人笹川平和財団理事長、次いで会長。